

平成 28 年 9 月 29 日

ラグビーワールドカップ 2019「岩手県・釜石市」
開催に伴う岩手県への経済波及効果（概要）

盛岡市中ノ橋通一丁目 2 番 1 6 号
岩手銀行中ノ橋支店 3 階
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕

仙台市青葉区中央一丁目 6 番 3 5 号
東京建物仙台ビル 1 9 階
株式会社 日本政策投資銀行 東北支店
支店長 瀬川 隆盛

ラグビーワールドカップ 2019「岩手県・釜石市」開催に伴う 岩手県への経済波及効果は 83 億 2,000 万円と試算される

1. 試算の前提条件

(1) スタジアム建設の予算

新設する「釜石鶴住居復興スタジアム（仮称）」の建設費は、釜石市議会協議会（平成 28 年 3 月 30 日開催）で示された基本設計案に基づき 31 億 9,800 万円とする。

(2) 大会運営に係る予算

運営費は、日本スポーツ振興センター（J S C）の発表資料内で示された大会運営費総額 180 億円を、釜石で想定される本大会の開催試合数（全 48 試合中 3 試合）で案分した 11 億 2,500 万円と設定し、事務的経費や各種イベント経費、施設整備費用等に分配する。

(3) 来場者数の推計

① 各イベント等の推計来場数

来場者数の推計に当たり考慮する大会関係のイベント等は本大会 3 試合、ファンゾーン（パブリックビューイング）10 試合、プレ大会 2 試合、キャンプ（県内公認チームキャンプ地選定数 1）の 4 項目とする。

期間中の延べ来場者はキャンプ以外の 3 項目については、収容人数に開催試合数を乗じ、本大会が 48,000 人、ファンゾーンが 50,000 人、プレ大会が 32,000 人と推計する。キャンプはチームメンバー（選手、マネジメントスタッフ）51 人が計 14.3 日間使用する（図表 1）。

図表 1 各イベント等の推計来場者数

	収容人数 使用人数	開催試合数 (使用日数)	延べ人数
本大会	16,000 人	3試合	48,000 人
ファンゾーン	5,000 人	10試合	50,000 人
プレ大会	16,000 人	2試合	32,000 人
キャンプ	51 人	(14.3日)	--

（注）キャンプ使用日数は前回大会で実際に使用された 1 公認チームキャンプ地当たりの平均日数

資料：岩手研究所作成

② 県内外、海外、日帰り・宿泊別の推計来場者数

来場者は、県内外の日帰り・宿泊客および海外客（宿泊）別の5パターンに分類した。本大会については過去の大会実績を参考に、国内客80.0%、海外客20.0%と大別し、国内客の構成は観光庁の「全国観光入込客数統計に関する共通基準 平成27年」を参考に県内・日帰り33.6%、県内・宿泊10.8%、県外・日帰り20.4%、県外・宿泊15.2%とし、宿泊日数は県外・宿泊と海外が1人当たり2泊、県内・宿泊は同1泊と設定する。ファンゾーンおよびプレ大会は国内客のみを想定し、両方とも県内・日帰り42.0%、県内・宿泊13.5%、県外・日帰り25.5%、県外・宿泊19.0%、宿泊日数1泊と設定する。キャンプはすべて海外客とする（図表2）。

各イベント等の来場者数を前述の割合を基にまとめると、本大会来場者数48,000人の内訳は、県内・日帰り16,128人、県内・宿泊5,193人、県外・日帰り9,789人、県外・宿泊7,290人、海外9,600人となる。ファンゾーン来場者数50,000人の内訳は、県内・日帰り21,000人、県内・宿泊6,761人、県外・日帰り12,747人、県外・宿泊9,492人で、プレ大会来場者数32,000人の内訳は、県内・日帰り13,440人、県内・宿泊4,327人、県外・日帰り8,158人、県外・宿泊6,075人となる。キャンプは海外51人として扱う（図表3）。

図表2 各イベント等の来場者の構成比

	県内			県外			海外	合計
	日帰り	宿泊	計	日帰り	宿泊	計	宿泊	
本大会	33.6	10.8	44.4	20.4	15.2	35.6	20.0	100.0
ファンゾーン	42.0	13.5	55.5	25.5	19.0	44.5	--	100.0
プレ大会	42.0	13.5	55.5	25.5	19.0	44.5	--	100.0
キャンプ	--	--	--	--	--	--	100.0	100.0

資料：大会実績、観光庁資料より岩手経済研究所作成

図表3 各イベント等の来場者数

	県内			県外			海外	合計
	日帰り	宿泊	計	日帰り	宿泊	計	宿泊	
本大会	16,128	5,193	21,321	9,789	7,290	17,079	9,600	48,000
ファンゾーン	21,000	6,761	27,761	12,747	9,492	22,239	--	50,000
プレ大会	13,440	4,327	17,767	8,158	6,075	14,233	--	32,000
キャンプ	--	--	--	--	--	--	51	51
合計	50,568	16,281	66,849	30,694	22,857	53,551	9,651	130,051

資料：岩手経済研究所作成

(4) 来場者の消費支出の推計

各パターンの来場者の岩手県における消費支出単価（宿泊は1泊当たり）は、観光庁の「訪日外国人の消費動向 平成27年 年次報告書」「宿泊旅行統計調査（平成27年・年間値）」「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究（平成26年版）」を参考に算出した。次に、算出した消費単価を「交通費」「宿泊費」「飲食費」「買物代」「その他」に細分化し、日帰りには来場者数を、宿泊には来場者数および宿泊日数をそれぞれに乗じて来場者の消費支出額を推計した。ただし、キャンプは宿泊費および飲食費のみ考慮する（図表4）。

図表4 各イベント等の来場者の消費支出推計額

(百万円)						
	交通費	宿泊費	飲食費	買物代	その他	合計
本大会	358	266	189	278	53	1,145
ファンゾーン	229	83	70	88	41	511
プレ大会	146	53	45	57	26	327
キャンプ	--	6	4	--	--	10
合計	734	408	307	423	120	1,993

(注) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある

資料：岩手経済研究所作成

2. 経済波及効果の試算

(1) 使用する産業連関表

経済波及効果は、公表されているもので最新の「平成23年岩手県産業連関表」を用いて試算した。ただし、平成23年当時の岩手県の産業構造を基に経済波及効果を試算していることから、その後の技術革新や物価変動などは考慮しておらず、特に岩手県では東日本大震災およびその後の復旧・復興の影響によって産業構造が変化している可能性があることに留意が必要である。

(2) 経済波及効果の内訳

経済波及効果は、1次波及効果と2次波及効果に大別され、さらに1次波及効果は直接効果と間接効果に分類される。

直接効果とは、スタジアムの建設、大会などの運営、来場者の消費支出に伴い発生する需要のうち、県内の各産業で財・サービスの生産が想定される需要部分である。

間接効果とは、直接効果のあった産業の原材料の調達などからの誘発額のうち、県内の各産業で発生する生産額のことである。

また、1次波及効果のあった各産業では雇用者所得の増加が発生する。この雇用者所得の増加分の一部が消費に回ることによって誘発される生産額のうち、県内の各産業で発生するものを2次波及効果という。

(3) スタジアム建設に伴う経済波及効果

スタジアムの新設に伴う経済波及効果は 48 億円となる（図表 5）。

図表 5 スタジアム建設に伴う経済波及効果

(百万円)

	需要 増加額	一次波及効果			二次 波及効果	総効果
		直接効果	間接効果			
スタジアム建設費	3,198	3,198	929	4,127	673	4,800

資料：岩手経済研究所作成

(4) 大会運営に伴う経済波及効果

運営費の経済波及効果は 13 億 6,200 万円となる（図表 6）。

図表 6 大会運営に伴う経済波及効果

(百万円)

	需要 増加額	一次波及効果			二次 波及効果	総効果
		直接効果	間接効果			
運 営 費	1,125	889	245	1,134	228	1,362

資料：岩手経済研究所作成

(5) 来場者の消費支出に伴う経済波及効果

来場者の消費支出に伴う経済波及効果は、本大会が 12 億 500 万円、ファンゾーンが 5 億 7,300 万円、プレ大会が 3 億 6,700 万円、キャンプが 1,300 万円と試算され、その合計は 21 億 5,700 万円となる（図表 7）。

図表 7 来場者の消費支出に伴う経済波及効果

(百万円)

	需要 増加額	一次波及効果			二次 波及効果	総効果
		直接効果	間接効果			
本 大 会	1,145	762	244	1,006	199	1,205
フ ァ ン ゾ ー ン	511	360	118	478	95	573
プ レ 大 会	327	231	75	306	61	367
キ ャ ン プ	10	8	3	11	2	13
消 費 支 出	1,993	1,361	440	1,801	357	2,157

(注) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある

資料：岩手経済研究所作成

(6) 経済波及効果の合計

以上(3)、(4)、(5)より、ラグビーワールドカップ2019の「岩手県・釜石市」開催に伴う岩手県への経済波及効果は83億2,000万円と試算される(図表8)。

図表8 ラグビーワールドカップ2019の岩手県への経済波及効果(合計)

(百万円)

	需要 増加額	一次波及効果			二次 波及効果	総効果
		直接効果	間接効果			
スタジアム建設費	3,198	3,198	929	4,127	673	4,800
運営費	1,125	889	245	1,134	228	1,362
消費支出	1,993	1,361	440	1,801	357	2,157
合計	6,316	5,448	1,613	7,061	1,258	8,320

(注) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある

資料：岩手経済研究所作成

なお、本資料は作成時点で判明、想定されている情報から前提条件を設定している関係で、実際の条件等と異なる可能性があることをお含みおきます。

©IWATEKEIZAIVENKYUSHO 2016

©Development Bank of Japan Inc. 2016

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は岩手経済研究所および日本政策投資銀行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、岩手経済研究所および日本政策投資銀行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。岩手経済研究所または日本政策投資銀行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：岩手経済研究所、日本政策投資銀行』と明記して下さい。

本件についてご不明な点がございましたら、恐れ入りますが、以下のいずれかまでご照会ください。

【照会先】

一般財団法人岩手経済研究所

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号 岩手銀行中ノ橋支店3階

地域経済調査部 研究員 佐藤 和孝 TEL 019-622-1212

株式会社日本政策投資銀行東北支店

仙台市青葉区中央一丁目6番35号 東京建物仙台ビル19階

東北復興・成長サポート室 課長 山崎 智之 TEL 022-227-8106